



高原の自然館ニュースレター

# 苜尾電波塔

第 29 号

2006.5.1

高原の自然館

苜尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつけています。

## も く じ

### おしらせ

- 高原の自然館が開館
- 『飯田恒弘・八幡写真展 臥龍・森の物語 ブナ林の四季』を開催中
- 『シーズンズ-季節を映す写真展』を開催
- アンケート集計結果の報告

### 活動報告

- 山焼き後の雲月山観察会
- 両生類の産卵調査

### 観察会案内

- 大潰山（柏原山）の春植物観察
- サクラソウ保全のはなし
- ブナ原生林での早朝バードウォッチング
- 奥匹見峡の植物観察

### 読者サロン

#### 高原からの花だより

- 春山の真っ赤なコサージュ，カシワ

## お し ら せ

### 高原の自然館が開館 (2006.4.26)

今年もやっと開館しました。21日にはほんの少し雪が積もりましたが、コブシや桜も咲き始め、カキツバタは順調に葉を伸ばしています。

今シーズンも、どうぞよろしくおねがいします。

### 『飯田恒弘・八幡写真展 臥龍・森の物語 ブナ林の四季』を開催中です

西中国山地自然史研究会の会員であり、苜尾にも寄稿いただいている飯田さんの写真展が、芸北文化ホールにて開催されます。臥竜山のブナ林を中心に10年間にわたって撮影された作品、約50点を展示しています。ぜひお越し下さい。

### 写真展『シーズンズ-季節を映す写真展』が開催されます

西中国山地自然史研究会会員の藤原俊二さん、廣森幹一さん、佐久間智子さんと事務局しらかわの写真作品を展示する写真展が、北広島町千代田中央公民館で開催されます。約50点の作品を展示し、八幡高原の季節の移ろい表現します。お出で頂けると幸いです。

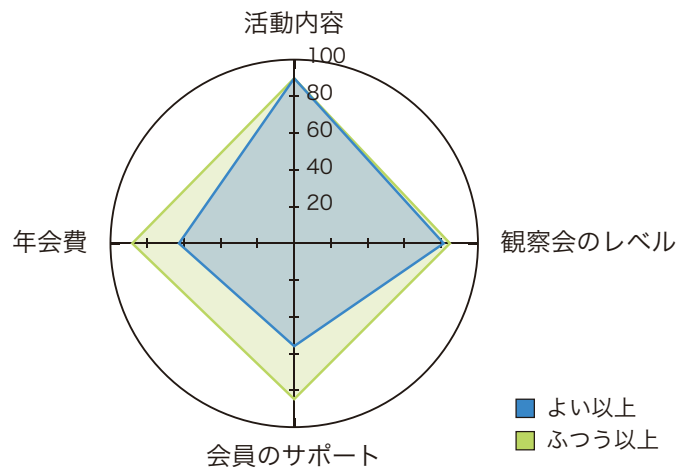
詳しくはチラシをご覧ください。

## アンケートの集計結果

みなさまに頂いたアンケートの集計結果について報告します。145 通のアンケート用紙を送付して、59 通の回答を頂きました(回答率= 40.7%)。ご協力頂いたみなさま、ありがとうございました。

### 【西中国山地自然史研究会について】

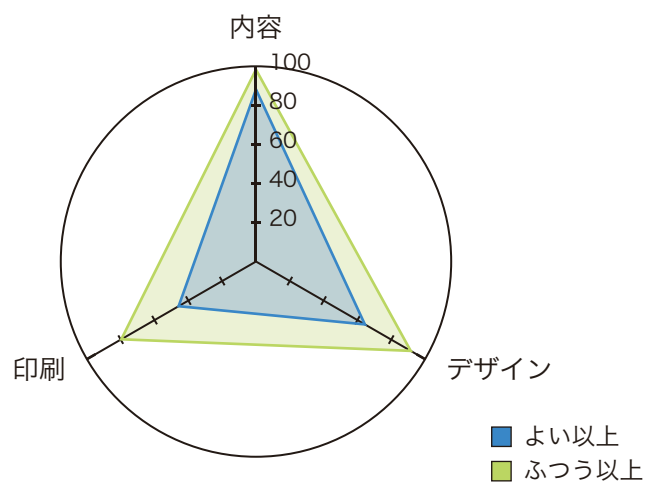
「高原の自然史」を機関誌とすべき。」「入会して間がないので、まだよくわかりません。」「観察会、イベントを土曜日に実施して欲しい。」「活動内容によっては、参加費を増やしても良いのでは。」「老人の活動したい内容を、特に歩行距離の短いもの。」「参加できていないので特に何もありません。」「年会費は安いと思う。地区の人の参加がもっと多くなればいい。知らない人もたくさんいると思う。」「MLがあってもいいかも。」「学術的な視点や手法に裏付けされている点は他の自然観察活動等には見られないユニークなものだと思います。」「会員証があればいいと思う。」「会報、苅尾電波塔を楽しみに読ませて頂いています。自然環境を大切に守っておられる地域の人の心が伝わってきます。ありがとうございます。」「現地に参加する際に広島方面からマイカーで行かれる方に便乗



させて下されば幸いです。」「イベントの質は高く楽しい。再生事業についてみんなで考える機会を提供したい。」

### 【苅尾電波塔について】

「高原の自然史とのリンクをすべき。」「No23 でストップしているのかな?」「写真の掲載がされており(ホームページ) 楽しく、分かりやすい。」「おつかれさまです。ずっと継続される事を希望します。」「写真がよく見えない。」「研究会のメンバーはそうそうたる研究者です。おもしろい話がぜひとも聞きたいですネ。」「活動報告では写真を減らし、参加者の感想、意見等を載せてはいかがでしょうか。」「今年は読者サロンにも参加したいと思います。自然館のみなさんばかりというのも、堀が高い感じがしますので、私のような中途半端なアマチュアからでもちょっと入り口を作ってみたいな、と思うのです。北広島町の住民として、底辺を広げたいのです。」「イベント内容を確認しやすい見出しにしてほしい。」「もっとたくさんの方に参加してもらえるような紙面を期待します。」「「花だより」は写真付きだとわかりやすくして”1 とてもよい” になりますか・・・」「季節の便り、いつもありがとうございます。」「活動報告にキレイな写真がたくさん添付されていて不本意ながら参



加できなかった時、疑似体験できてとてもうれしいです。」「特に写真は白黒では? 会費を上げて「カキツバタ通信」の様にカラー写真だと動植物、昆虫等はわかりやすい。(希望者だけでも?)」

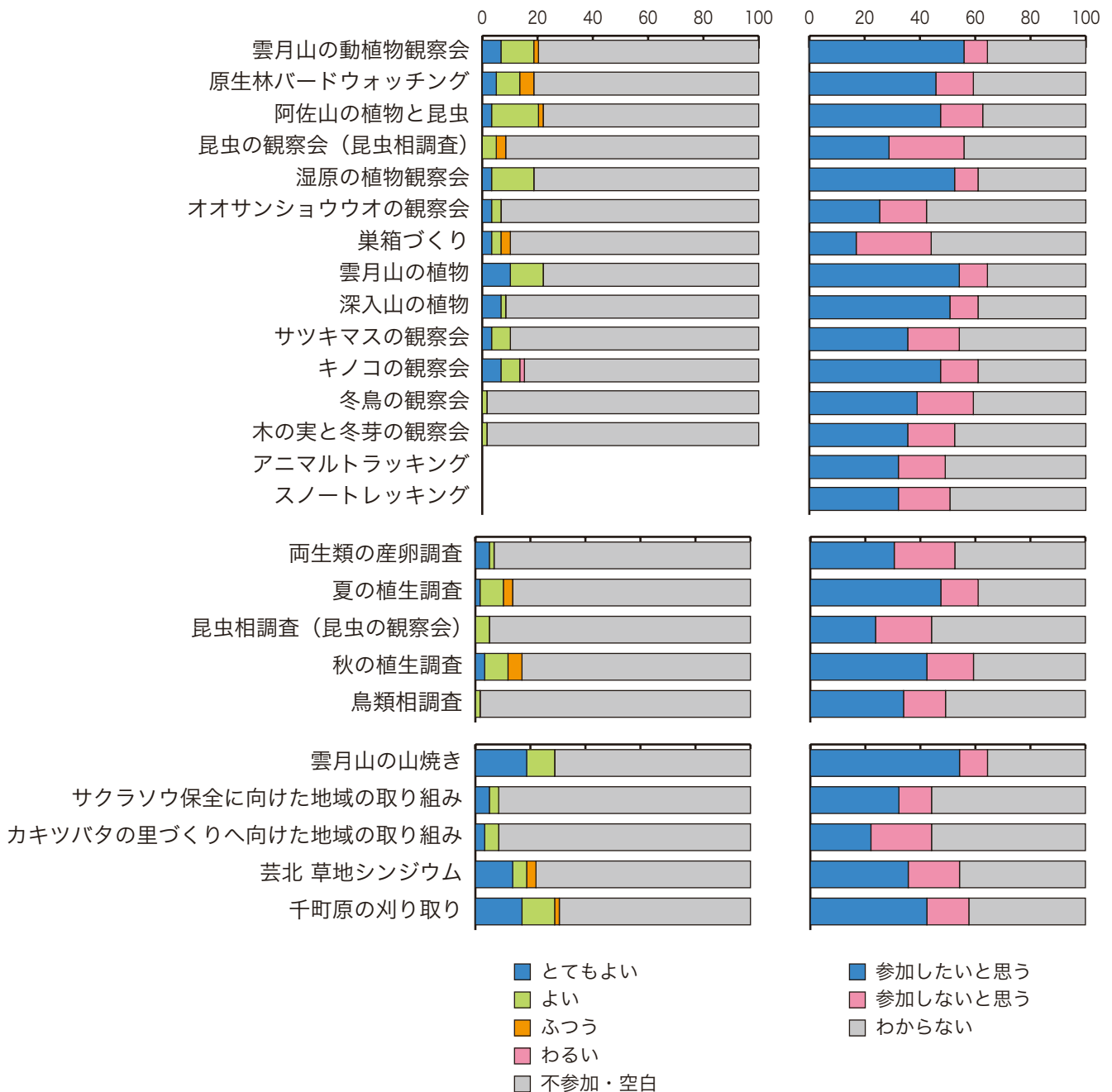
## 【イベントについて】

「マンネリ化しないようにしてみたいと思いますが・・・」  
 「土、日に仕事があるので、イベントへの参加は基本的にできません。」  
 「土曜日開催を考えて下さい。」  
 「観察会、イベントなど、なにかの目玉となるものとセットした方が、より興味を引くと思われるので、そんなものとセットにした企画があれば!!」  
 「もう少し参加してみて回答します。」  
 「キノコ観察会は期待しています。」  
 「毎年同一イベントはそれぞれ新たな発見もあり、有意義だと思っていますが、土日の実施日には他の多くのイベントとどぶつてしまい今まで行っていないイベントの方を優先してなかなか参加できません。新しいイベント企画も必要かと思います。」  
 「中山間地の未来に向けた活動もトライしてみてもは？」  
 「出

来るだけ早く日程を決定してください(多少変更があっても可)。  
 地元の子供達が参加できるようにしたい。観察会、イベントにあたっては出来るだけ感想文、アンケート等を取り、電波塔に載せてはいかがでしょうか。」  
 「子供達と参加できるイベントを増やして欲しいです。」  
 「いつも色々な企画を立てていただきありがとうございます。今年度は千町原の刈り取りに初参加しました。スタッフの方々、参加された皆さんの熱い思いが感じられ、有意義な時間が過ぎせ、良い汗をかきました。最後の「仕上げ」おいしかったです。※参加費が少ないので持ち出しが多かったのでは?と心配しました。」  
 「野外の行事のため講師の説明が十分に聞き取りにくいのでなにか良い方法はないでしょうか。」

参加した観察会の評価

来年の参加について



## 【新たに企画してほしいイベント】

「高原の自然史の著者に報告会をしてもらう。」「子供達の参加ができるイベントを作って欲しい。」「芸北方面の地理(図)と現地の地形、地勢の概要、標高と植物(相)の概要。」「八幡地区の田畑周辺を巡る(カントリーサイドウォーク)。動植物に関するインタープリター養成講座。(冬以外の)木の実にまつわる観察→リキュール等に関して。」「ちょっと無理がありますが、動物オリエンテーリング(デジカメと簡単な地図で動物を探して競う)。」「トンボ池を造ってみてはどうか。」「もっとブナもとりあげて欲しい。」「カワシジュガイが増えたので、灌水観察ができます。ブチサンショウウオ(以前)の産卵(卵のう観察)が5月下旬、幼生が8月上旬に何らかのついでにセットで、カワシ

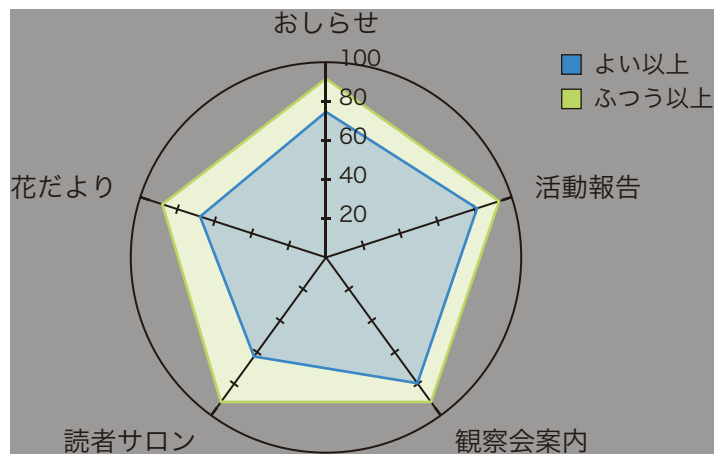
## 【苅尾電波塔の記事について】

「農村の伝統行事や食にまつわること(この会の主旨とは少しズレますが)、木の実の加工等について。」「ツキノワグマの実態、奥山放獣はどこにしているのか、中ノ甲林道等追跡調査は果たしてなされているか。」「芸北の暮らしの知恵、生物の生き様、もう少し科学的、人文科学的な、つまりアカデミックな視点が欲しい。しかし、子どもでも分かるもの。」「芸北での各種イベント、行事などの紹介・案内などを。」「カットとか飾り罫線などをもっと取り入れて・・・もう少し「色気」を出した方が目にやさしいと思うのですが、パソコンでは無理なのかな?」「花のさいた時、実のなったときの写真付きの記事を多くしてほしい。」「四季折々の植物や動物のニュースを楽しみにしています。」「再

## 【自由記入】

「とにかく、この会の機関誌として「高原の自然史」を採用すべし。」「去年はぜんぜん参加できませんでした。来期を楽しみにしています。」「花ごよみ」はとても良いです。」「私達に意見を求められても・・・むつかしいかなと思います。」「HPのTOPは休館期間であっても、こまめに更新する方が良いのでは?冬なのに、まだ秋の写真では、季節感にズレが出ます。」「「自然」ということばが一人歩きしないことを願います。地元の子供達が生き生きと雲月山の植物について話してくれた事が感激でした。DNAへのすりこみは一生ものですから。」「記事や写真をインターネットでカラーで見られたら良いのですが、封筒にも、ホームページの事を載せられる・・・でしょうか。」「参加したいものばかりですが、なかなかスケジュールが合わず参加出来ま

ジュガイの保護活動として、テグス張り、そのための矢竹取りがボランティア活動でできないか。」「写真展、絵画展。」「地元の方を講師とした農林作業(たい肥作り、ワカン作り、間伐等)。休耕田畑を利用したの農作業等。雪中キャンプ。雪洞キャンプ。夏のキャンプ。」「自然館来館者への啓蒙イベント。」「今まで通りで良いので、是非継続してほしい。」「環境保全に関わる活動を増やして下さい。千町原の刈り取りのように、参加型のイベントをお願いします。」「八幡湿原GISマップ作製(協力します)。」「再生予定地の現状と将来、特に現状をよく知るための観察会。」「聖山の植物観察。聖湖の自然観察。」「中国山地のクマの現状を知りたい。クマ研等の協力で話が聞けないか?」



生事業の経緯を報告できるようにしたい。」

せん。残念です。」「各種、観察会、湿原の復元、環境保全活動など、多方面にわたって実施され、大きな成果があがった事と思います。私は病身で参加する事はできませんが、送られてくる記事を楽しみに読ませていただいています。今年もよろしくおねがいたします。」「各種のイベントの運営についてのご苦労に感謝します。また、ちょっとした気遣い・心配りが垣間見えてます。高原の自然館の「あり方」が、一般の方から見ると中途半端に見えるのではでしょうか?運営(活動)をもっとPRできれば良いと思います。けっして批判しているつもりはないのですが、八幡(芸北)の良さをもっと多くの人に知って頂けたらと思っております。2006年度はできるだけ多くの観察会やイベントに出たいと思っています。※世の中はネット社会になってよけい人と人とのつながりやふれあいの大切さが見直されてくると思います。」「湿原再生のねばり強い活動計画・熱意は

すばらしいものです。継続は力なり。ぜひ引き続いていて下さい。」「自然館のアウトホームな感じがとても好きです。こちらの活動（鳥・植物・昆虫・動物 etc. 様々な視点の活動）に参加させて頂くようになってから、改めて、自然というのは、その一面を知っただけでは、その自然を知った事にはならないのだなと感じるようになりました。全てはつながっているのですね。これからは色々な活動にまんべんなく参加して、全体のつながりについて勉強させて頂きます。観察会など、地域外の人参加が多いように思いますが、芸北の方の参加がもっとあればいいですね。」「お忙しい中定期的な刊行物の発行は大変かと思いますが、ささやかながらいつも楽しみにしています。これからもがんばって下さい。信州より。」「いつも「苧尾電波塔」をお届け下さってありがとうございます。毎回楽しみに読ませてもらっています。一昨年・昨年と、体の都合でどの観察会にも、活動にも参加できなくて残念です。今年は一回でも二回でも参加できたらいいなと思っています。上記のような訳でアンケートにお答えする事ができません。お許し下さいませ。」「いろいろと都合があって出席しておりませんので（特に体調をくずしましたので）お答えする事ができません。お許し下さい。」「今年は多忙のためイベントにあまり参加できずに残念です。」「芸北の自然は、世界、日本の宝だということがわかりましたが、その前に、北広島町の宝です。ももとの住民の人達は、それに気付いておられないようですので、外から移り住んだ者として、機会あるごとにそれとなく宣伝しています。自分に無理なく、できることから・・・ね・・・」「電波塔はやっぱり紙で見の方がスキです。」「西中国山地自然史研究会に加入させて頂き、魅力ある活動をしておられ、是非参加したいと思っていましたが、多忙のためほとんど参加することができませんでした。私、4月1日から京都へ転勤することとなり、申し訳ありませんが、今年度末をもって大会させて頂きたいと思います。将来、広島に戻りました時には、又参加させて頂きたいと思いますのでよろしくおねがい致します。」「昨年までは、仕事の関係上時間が取れなくて参加が出来なかったが、仕事も区切りを付けることが出来たので、なるべく時間を取って各種イベントへ参加したいと思っています。」「途中より苧尾電波塔よりインターネットに切り替えましたので、写真等が鮮明で楽しんでおりますが・・・今一つ操作（メール等）が解らない点があり、一人苦笑しております。会員とは名ばかりで、昨年は一つの参加もなく、このアンケートも申し訳ない気がします。私自身ももう少し気楽に、人の輪に入っていけるよう・・・今年こそは・・・昨年、カキランの自然の姿を見たときにはカンゲキしました。それも家の近くで・・・今年カメラに挑戦し、写したいと思います。フシグロセンノウも・・・」

「大雪で大変ですが、旧芸北町のため頑張ってください。」「いつもお世話になっております。安い会費で内容の充実したイベントで、いつもありがとうございます。継続は力と言います。これからもできるだけ参加させてもらいます。西中国山地の現状を少しでも多く知りたいと思っています。」「いつもお世話になりありがとうございます。自然館でスタッフの方々のお顔を拝見するとホッとします。これからも、色々な行事をお願いします。ボランティアで参加出来るような行事があればぜひ参加したいと思っています。今年の冬はきびしい冬になっていますが、春になって自然館が開くのが今から楽しみです。」「読者サロンはスタッフの人柄が伝わってきていつも楽しく読ませて頂いています。今年も又、感動を求め、参加していこうと思います。よろしくおねがい致します。」「気ままな人を対象としているので、大変だと思いますが息長く続けて下さい。湿原の再生活動は「アサザ運動」を越える活動になれば良いですね。これからも、色々なイベントに参加出来る事を楽しみにしています。」「動物も植物も大好きですが、一人で活動することがスキですので、参加はいたしません。皆様の活動には興味を持っております。今後とも、このまま活動を続けてください。」「イベントなどの参加が、仕事、他の行事でほとんどさんかしていません。毎年産かしたいと思っていますが、今年は、何回かさんかしようと思っています。アンケートの回答にならなくて、申し訳ありません。苧尾電波塔は毎回楽しみに見えています。」「スタッフの皆様、お疲れさまです。ニュースを書く気苦労、特に原稿を書く苦労よ～くわかります。さて、前半のアンケート、真っ白で申し訳ないです。仕事の定休日と観察会の日程が合わないで全然参加できません。観察会、特に植物関係には参加したい気持はい～っぱいあるのですが・・・残念で残念でなりません。苧尾電波塔をじっくり読んで掛頭のふもとに里帰りする時の参考にしたいと思います。」「スタッフの皆さん、いつもご苦労様です。皆さんの笑顔に会えるのも参加する楽しみの一つです。来年度もよろしく願います。」「ご案内いただきながら参加していませんが、記事を楽しみにしています。」「せっかく良い企画をしていただいているのに行事に参加出来なくて心苦しいです。多忙で大変ですが今後も続けてやって下さい。」「気持はいつも参加したいのですが、都合が付かず、残念です。提出、遅くなってすみません。」「スタッフ一同の方々には心より感謝を申し上げます。」

## 活動報告

### 山焼き後の雲月山観察会

開催日時：2006年4月16日（日）9：30

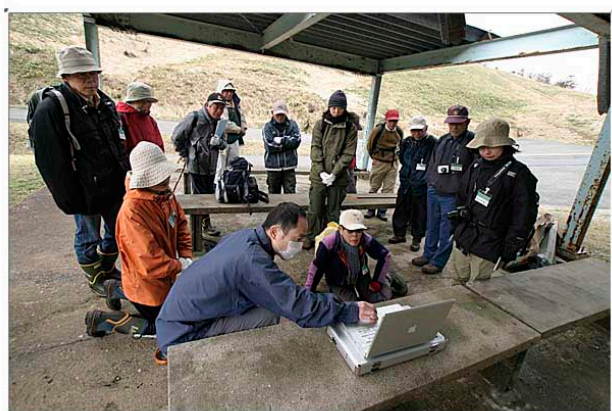
天気予報は雨でしたが、集合した頃には曇りで、なんとか保ってくれそうな天気でした。講師の和田先生はパワーブックを使って山焼きの状況を説明するところから始められました。昨年焼いた場所を登っていくとずいぶんササの草丈が低くなっているように感じます。第1駐車場から登って最初のピーク、岩倉山の山頂に着くまでにヤマヤナギ、ショウジョウバカマ、スゲの仲間などが咲いていました。山頂からは山焼きの跡を見ながら下ると、昨年までは一面が背の高いササだった場所がきれいに焼けていて、ショウジョウバカマが花をつけていました。第2駐車場までもどり、東で食事をするところにはすっかりお天気になりました。食事を済ませて車道を登り、第1駐車場まで戻って、今日観察したものを確認して解散となりました。[し]



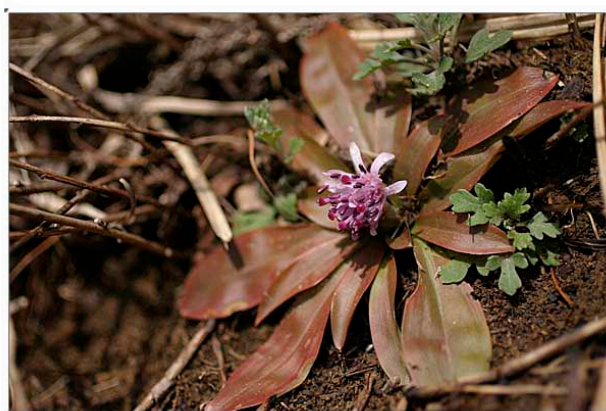
ヤマヤナギの花が咲いていた。



昨年山焼きを行った場所では、明らかにササの高さが低くなっていた。



出発前に Powerbook を見ながら山焼きの様子を把握。



雌しべの輝きが美しいショウジョウバカマ。



岩倉山山頂。燃えたところが見えてきた。



昨年すっかり焼けたススキ群落でも、ススキは変わりなく生長していた。



焼け跡を観察してみた。アカマツやヒサカキは、燃えていなくても枯れていた。

### みなさんの印象に残った物

「ショウジョウバカマの生命力。(2)」「山焼きの面積の広さ。」「今年は焼跡の植物が少なかった。」「今年の火入れの跡の状況。」「ササとススキの住み分け。」「焼け跡に咲いていたショウジョウバカマ。火入れのしかたでよく焼けているところとそうでないところ。」「草原を守るためにはそれなりの手入れが必要だということ。」「石や木にササなどがまきついていたりやつ。(4)」「土の中まで根を枯らすほど熱くないこと。」



### 参加したみなさんの感想（抜粋）

「寒かった。」「今後の草原の変化に期待したいと思います。」「焼いた所と焼いていない所の違いが面白かったです。」「経年観測すると面白い。」

今回のビックリ「石まくれ」。雪の塊がずれる時に石を押さえつけながら転がしてできるのだろうか。

## 活動報告

### 両生類の産卵調査

開催日時：2006年4月29日（日）9：30

苅尾の山腹には雪も見え、コブシがやっと咲き始めたばかりと、まだまだ寒さの残る中の調査となりました。自然館から二川キャンプ場の駐車場に移動し、まずは茂田さんから自然再生事業について話して頂きました。続いて内藤先生からカスミサンショウウオの生態について話を聞いた後、全員で産卵場所と卵塊、それを守る雄を観察しました。これらの概要を掴んだ後で、4班に分かれて自然再生事業の予定区域を踏査しました。1時間半後に再び集合して結果を報告しあいました。その結果、山際では卵塊や成体が見られ、特に北東部では大量の卵塊が確認されていました。これと対照的に、道路と水路に囲まれた場所では、カスミサンショウウオだけでなく、カエルの産卵も見られませんでした。再生事業によってカスミサンショウウオの産卵場所も復元されると良いですね。[し]



実際に、どんなところに産卵するのか、現地を見ながら説明を受けた。



成体を見つけた！



カスミサンショウウオの生態に関するレクチャーを受ける。



手の上に載せると、体温が上がったのか、動きが活発になった。





白くなったのは無精卵.

## みなさんの印象に残った物

「卵塊の多さにおどろいた!!」「カスミサンショウウオの親を自分で見つけたこと.」「サンショウウオのおなかの紫色がきれいだった.」「卵☆ (2)」「カスミサンショウウオの卵塊中で発生中の胚が動き回っている様子.」「サンショウウオの黒い体と卵の感触.」「卵とカスミサンショウウオの成体. (2)」「自分でサンショウウオの卵を見つけられたこと. それとノイバラ.」



かなり発生が進んだカエルの胚.

## 参加したみなさんの感想（抜粋）

「ノイバラが大変だったけど、卵も親も見られてよかったです。なんとなく、いる場所が分かってきたような気がして、ちょっとうれしい.」「卵がたくさんあって感動しました。自分でも見つけられたのでうれしかったです.」「卵を触ったときの感触がすごかったです。カスミサンショウウオの卵を初めて見たので・・・!!」「この辺りにはけっこう来ているのに、カスミサンショウウオのような生物が近くにいると思っていなかった.」「一見するとわからないけど、手を入れてさぐってみると生物がいるんだなあ・・・.」「初めてサンショウウオやその卵を見たり触れたりできて、感動しました。また来たい!!と思います。ただ、ノイバラはぶっちゃけ勘弁してほしいです.」「雪解け後の湿原再生地に入ってみていろいろな新芽等があり楽しかったです.」「環境のことを考えるきっかけになった.」「土地の様子からの話を聞くことが出来、肌に実感した.」「初めて親を見ました。かわいかった.」



調査を終えてもとの場所へ。最後にそれぞれの場所での調査結果を報告し合った.

## 読者サロン

このコーナーではみなさんから頂いたお便りをご紹介します。少しお休みしていましたが、また再開していきます。どうか気楽に投稿してくださいね。

### さくまともこさんから

先日、千町原刈り取りで伐採したハンノキにナメコの菌を植えました。まず、ハンノキにドリルで穴を開け、そこにナメコ菌のチップを埋め込みます。私はナメコ菌のチップを埋め込む役でした。ひたすらチップを埋め続け、かなりたくさんナメコ菌を植えました。今年植えたナメコは、来年になると出て来て、4年間くらいは生え続けるそうです。やっぱり食べられるものを作るのはうれしいですね！人が自然を利用して、そんな人の行為を生きものが利用して、うまく回っていくといいですね。

### テーマトーク

今回のテーマは、

『今年「春だな～」と感じたこと』です。

今年はずいぶんと春が遅かったように感じます。それだけに、春が来たことを実感する機会が多かったような気がします。みなさんは何を見て「春だな～」と感じましたか？

## 観察会案内

### 大潰山（柏原山）の春植物観察

開催日時：2006年5月7日（日）9:30

集合場所：大佐スキー場

講師：佐久間智子

準備：山歩きができる服装、雨具、弁当、水筒、おやつ、ノートなど。

定員数：30名

参加費：300円

（ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円）

ツツジの群生で有名な大潰山（柏原山）に登りながら春の植物を観察します。島根県側では「柏原山」と呼ばれるとおり、山頂にはカシワの群生も見られます。急な部分もありますが、距離的には歩きやすい山です。

### サクラソウ保全のはなし

開催日時：2006年5月13日（土）9:30

集合場所：美和文化センター

講師：下杉孝

準備：山を歩ける服装、弁当、水筒、筆記用具など

定員数：30名

参加費：無料

北広島町美和地区（旧芸北町）では、芸北のサクラソウを保存し、育成する活動を2000年から続けてきました。遺伝子を使った最近の研究では、美和地区のサクラソウは、広島県東部や九州に自生する個体群とは異なる、独立した系統を確立していることがわかりました。今回は、その活動を紹介していただきながら、美和地区の自然観察を行います。観察会の後には、サクラソウを取り巻く環境について茶話会を設ける予定です。



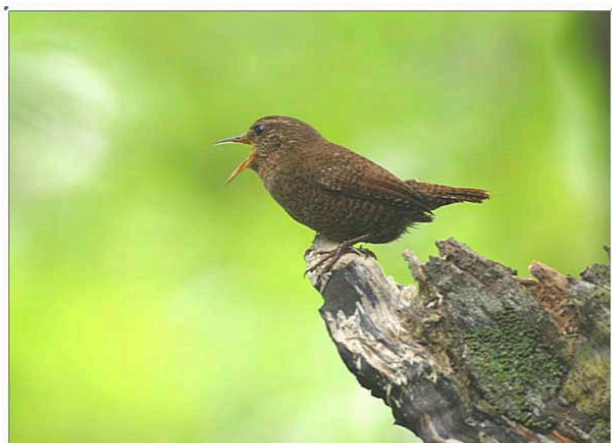
茶話会の様子

## 観 察 会 案 内

### ブナ原生林での早朝バードウォッチング

開催日時：2006年5月14日（日）5:00  
集合場所：苅尾山（臥竜山）雪霊水付近  
講師：上野吉雄  
準備：を歩ける服装、弁当、雨具、双眼鏡、図鑑、メモ等  
定員数：30名  
参加費：300円  
（ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円）

苅尾山にやってきた夏鳥を観察します。これまでの観察会では、オオルリ、コルリ、アオバト、アカショウビン、ミソサザイ、マミジロ、クログミ、ゴジュウカラなどが観察されました。さて、今年はどんな鳥に出会えるのでしょうか？



ミソサザイ



観察の様子

### 奥匹見峡の植物観察

開催日時：2006年6月10日（土）9:30  
集合場所：道の駅匹見峡  
講師：大野勉  
準備：山を歩ける服装、弁当、水筒、筆記用具など  
定員数：30名  
参加費：300円  
（ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円）

県境を越えて、日本海側の溪畔林を歩きます。一言で西中国山地と言っても、瀬戸内側と日本海側でずいぶんと様子が違います。そんな違いを見比べながら、夏の川辺を観察します。

今後の予定は下記のとおりとなっています。参加の申し込みや不明な点などは、事務局の方までお気軽にお問い合わせ下さい。

よろしくおねがいします。

#### 2006年

- 5月7日 大潰山の春植物観察
- 5月13日 サクラソウ保全のはなし
- 5月14日 バードウォッチング
- 6月10日 奥匹見峡の植物
- 6月18日 阿佐山の動植物
- 6月25日 植生調査
- 7月22日 昆虫観察
- 7月23日 湿原の観察
- 八幡湿原と自然再生事業—
- 8月5日 カワシヅユガイの観察
- 8月20日 巣箱づくり
- 9月18日 植生調査
- 9月24日 雲月山の植物
- 10月8日 キノコの観察会
- 10月9日 サツキマスの産卵
- 11月11日 冬鳥の観察・紅葉とゴギの産卵
- 11月19日 千町原の草刈り

#### 2007年

- 1月21日 アニマルトラッキング
- 2月18日 スノートレッキング
- 3月11日 苅尾トレッキング

## 高原からの花だより



### 春山の真っ赤なコサージュ、カシワ

草木が萌える季節がまたやってきました。山にも田にも生命の息吹が感じられます。風雪に耐えながらじっとしていた木々も、固い冬芽を開いて若葉を出しています。この時期の若葉を観察すると、淡い緑色だけでは無いことに気がきます。カシワもその一つで、芽を出してすぐの葉は真っ赤な色をしており、一緒に咲く花よりも目立ちます。

カシワはブナやコナラと同じドングリを作る仲間です。大きいものは高さ 10m 以上になります。寒冷な気候のところによく、広島県では沿岸部には見られません。柏餅の材料として使われ、最近では中国産の柏の葉も輸入されているようです。秋には葉が茶色く色づき、枯れた葉は冬にもなかなか落ちずに枝に残ります。

さて、このカシワの葉ですが、先述のように芽吹いたばかりの時は真っ赤な色をしています。カシワのほかにもアセビや、低地ならツバキの新葉なども赤い色をしています。こ

の赤い色はアントシアニンという色素で、秋に紅葉するカエデなどが作るものと同じです。では、なぜ落葉もしないのに赤い色をしているのでしょうか？

芽生えたばかりの葉の中では、光合成をするための緑の色素、クロロフィルが十分ありません。色素が無い葉が直接日光を受けると、紫外線によって細胞が傷んでしまいます。また、アントシアニンがあることによって、突然に冷え込む夜があっても葉が凍らずにすみます。

赤い色は出てきたばかりの若い葉を守るためのものだったです。開いたカシワの葉は日を重ねるごとに緑に変わり、やがて大人の顔が隠れるほどのりっぱな分厚い葉になります。その葉は夏の陽射しを受けながら、秋までの間に大きなまんまるのドングリを作ります。春の紅葉は葉の終わりではなく、はじまりを告げるものでした。

この記事は『広報きたひろしま 15号』に掲載されたものを転載したものです。

高原の自然館が開館しました。「閉館中は何をしてるの?」ということをよく聞かれますが、冬の間は川小田にある芸北文化ホールの二階で仕事をしています。ですから、開館時と閉館時の二回、仕事道具の引っ越しがあります。資料やパソコン、本棚などを合わせると車2台分になるのでなかなか大変ですが、要らない資料を廃棄するには良い機会になります。それでも資料は増え続けるんですけどね…。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
(ご意見・ご感想もお待ちしています)

#### 高原の自然館 (こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1  
tel. & fax : 0826-36-2008  
<http://shizenkan.info/>    [staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)  
冬季連絡先 : 0826-35-0070 (芸北文化ホール)